

長良川河口堰

- 失われた生態系と回復へのシナリオ

報告とシンポジウム

皆様のご協力により、6月5日・6日の「市民による『豊かな海づくり大会』」は成功裡に終わりました。参加者と実行委員の熱気により、秋に名古屋で開催されるCOP10の市民プロジェクトに「市民による『豊かな海づくり大会』実行委員会」として参加することにしました。

豊かな長良川を取り戻したい、山から海につながる命を育みたい、という私たちの目は、必然的に川と海を分断し、命のつながりに歪みをもたらしている長良川河口堰へと向きます。河口堰のゲート開放への願いに通じます。

1990年から20年間にわたり、河口堰の影響を調査してきた「長良川下流域生物相調査団」が、解散を前に「長良川下流域生物相調査報告書2010」を発行しました。右のような143頁の立派な報告書には、調査団員の長良川への思いが詰まっています。

この報告書の出版記念を兼ねた学習会を行います（報告書を参加の皆様にお渡しします - カンパとして500円をお願いします - ）。

河口堰がもたらした長良川の変化と現状を知り、河口堰ゲート開放への声を、さらに大きくしていきましょう！

皆様のご参加をお待ちします。



日時： 7月26日(月) 午後6時半より午後8時半まで

場所： ハートフルG 大研修室(JR岐阜駅構内東)

- 1) 長良川下流域生物相調査報告書より「河口堰により長良川はどのように変化したか」

千藤克彦（長良川下流域生物相調査団員）

- 2) シンポジウム「河口堰開放に向けて」

シンポジスト 在間正史(長良川河口堰建設差止訴訟・弁護士)

「塩害は起こるのか？」

千藤克彦、山内克典(長良川下流域生物相調査団団長)

「長良川はよみがえるか？」

コーディネーター 粕谷志郎(実行委呼びかけ人・長良川下流域生物相調査団員)



主催： 市民による「豊かな海づくり大会」実行委員会

(呼びかけ人 粕谷志郎、辻淳夫)

長良川市民学習会、NPO 法人藤前干潟を守る会、板取川自然探索・山童、いまじんウォーク実行委員、河口堰に反対し長良川を守る岐阜県民の会、長良川河口堰建設に反対する会・岐阜、NPO 法人ギンブナの会、長良川水系・水を守る会

連絡先： 長良川市民学習会 武藤 仁 090-1284-1298

この取り組みは、市民の力で支えられています。みなさまのカンパを是非よろしく願いいたします。

郵貯口座 口座記号番号：00820-8-158621 口座名：「豊かな海」実行委